

## 5 その他の農業関連政策やプログラム

### 5.1 インフレ抑制法

2022年8月16日に成立した2022年インフレ抑制法(Inflation Reduction Act:IRA)は、二酸化炭素排出量の削減、医療や処方薬の低価格化、内国歳入庁の資金調達、納税者のコンプライアンス向上などを目的としており、農業部門の気候変動対策予算も含まれている<sup>145</sup>。

このため、米国農務省が実施する「保全プログラム」の予算に、約180億ドルが2023～2026会計年度までの期間積み増しされることになった。

保全プログラムは現行の2018年農業法で義務的支出の予算全体の6.8%(293億ドル、2019～2023会計年度合計)を占めているが、今回の積み増しを加えると473億ドルとなり、現状の作物保険(380億ドル)や農産物プログラム(314億ドル)を上回り、農業法の農業施策としては最大になる(図34を参照)。

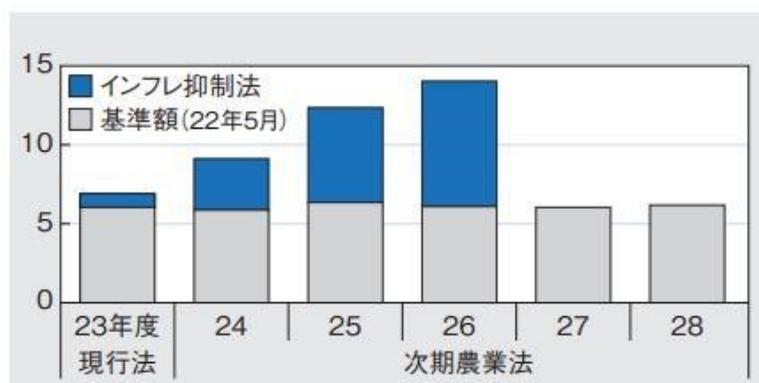


図34: インフレ抑制法による保全プログラムへの予算追加状況(単位:十億ドル)

出典:平澤明彦「米国農業法の気候変動対策へ向けた予算追加」<sup>146</sup>

<sup>145</sup> McKinsey & Company, “The Inflation Reduction Act: Here’s what’s in it”, October 24, 2022 (<https://www.mckinsey.com/industries/public-sector/our-insights/the-inflation-reduction-act-heres-whats-in-it>) 最終アクセス日:2024年1月30日

<sup>146</sup> 平澤明彦「米国農業法の気候変動対策へ向けた予算追加」、『調査と情報』第94号、農林中金総合研究所、2023年1月 (<https://www.nochuri.co.jp/report/pdf/nri2301re1.pdf>) 最終アクセス日:2024年1月30日

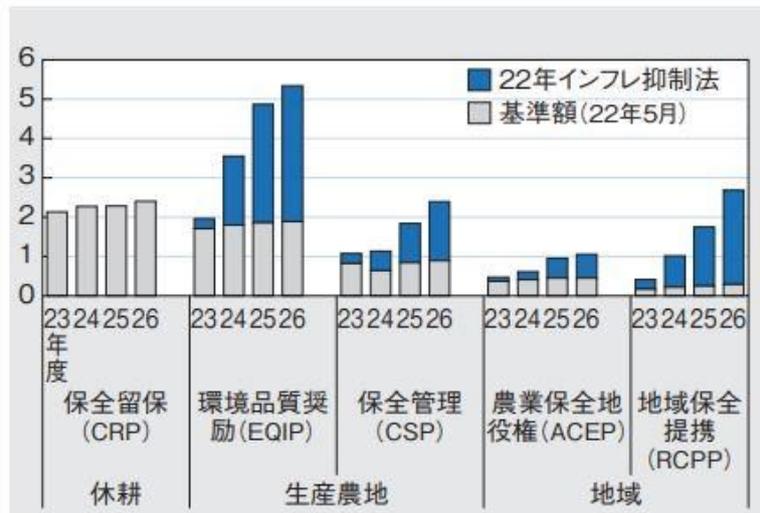


図 35: インフレ抑制法による各保全プログラムへの予算追加状況(単位:十億ドル)

出典: 平澤明彦「米国農業法の気候変動対策へ向けた予算追加」<sup>147</sup>

図中の「基準額(22年5月)」とは、2022年5月に発表された、保全プログラムのベースライン予測の額を示している。(ベースライン予測については、「4.4 今後の農業法予算の見通し」を参照)

図より明らかなように、「休耕」を推奨する CRP には積み増しはないが、「生産農地」と「地域」を対象とする他の 4 つのプログラムに関して積み増しが行われており、積み増しを加えると EQIP が保全プログラムの中で最大規模のプログラムとなることが分かる。(「表 11: 主要な保全プログラムの支出推移」を参照)

<sup>147</sup> 平澤明彦「米国農業法の気候変動対策へ向けた予算追加」、『調査と情報』第 94 号、農林中金総合研究所、2023 年 1 月 (<https://www.nochuri.co.jp/report/pdf/nri2301re1.pdf>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

## 5.2 気候スマートな農産物パートナーシップ



図 36: 本イニシアチブの公式ロゴ

出典: USDA<sup>148</sup>

### (1) 概要

気候スマートな農産物パートナーシップは、米国農務省(USDA)が 2022 年 2 月に発表し、農林業や農村地域と連携して気候変動に取り組み、米国の農村地域を強化する気候ソリューションを提供するために立ち上げたイニシアチブである<sup>149</sup>。

USDA は、141 もの「気候スマートな」手法や技術を用いた 1 年間から 5 年間のパイロット・プロジェクトを選定し、合計 31 億ドルほどの資金を提供する。

なお、「気候スマートな農産物」とは、「温室効果ガスの排出を削減したり、炭素を隔離したりする農業、牧畜業、林業手法を用いて生産された農産物」と定義されている<sup>150</sup>。

### (2) 主な目的

本イニシアチブの主な目的は以下のとおりである。

- 生産者が耕作地で自主的に気候変動に配慮した生産方法を実施できるよう、技術的・財政的支援を提供
- 温室効果ガス便益の定量化、モニタリング、報告、検証のための革新的かつ費用効果の高い方法を試験的に実施
- 気候変動に配慮した農産物の市場開拓と販売促進

<sup>148</sup> USDA, “Partnerships for Climate-Smart Commodities” (<https://www.usda.gov/climate-solutions/climate-smart-commodities>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

<sup>149</sup> CalCAN, “USDA Launches Partnership for Climate-Smart Commodities”, February 8, 2022 (<https://calclimateag.org/usda-launches-partnership-for-climate-smart-commodities/>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

<sup>150</sup> USDA, “Partnerships for Climate-Smart Commodities FAQs” (<https://www.usda.gov/climate-solutions/climate-smart-commodities/faqs>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

### (3) 特徴と施行状況<sup>151</sup>

- プロジェクト数と投資額: 141 のプロジェクトに 31 億 2,500 万ドルを投資
- 参加農家数と対象となる土地の規模: 6 万以上の農家と 2,500 万エーカー以上の農地
- 現行プロジェクトが対象としている品目:

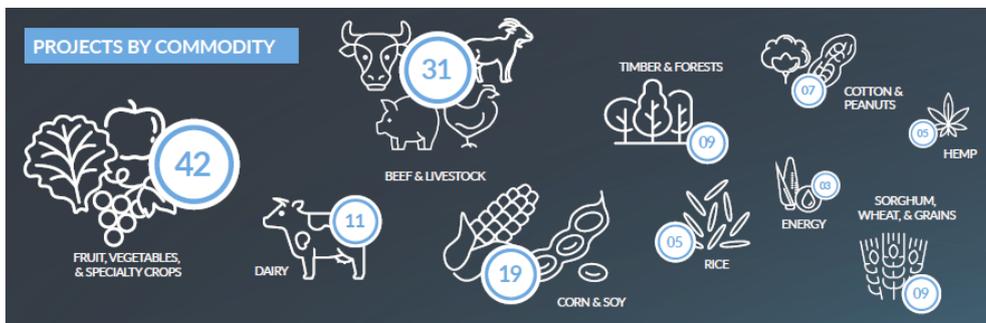


図 37: 気候スマートな農産物パートナーシップイニシアチブに含まれるプロジェクト数

出典: USDA<sup>152</sup>

1. 果物・野菜・特殊作物:	42 プロジェクト
2. 肉牛・家畜:	31 プロジェクト
3. トウモロコシ・大豆:	19 プロジェクト
4. 酪農:	11 プロジェクト
5. 木材・森林:	9 プロジェクト
6. ソルガム・小麦・穀類:	9 プロジェクト
7. 綿・ピーナッツ:	7 プロジェクト
8. 米:	5 プロジェクト
9. 麻:	5 プロジェクト
10. エネルギー:	3 プロジェクト

- 気候スマートな農業活動の種類: 以下の活動の実践や強化
  - ・被覆作物
  - ・低耕起栽培又は不耕起栽培
  - ・養分管理
  - ・肥料効率の向上
  - ・反芻動物の腸内発酵からの排出を減らすための飼料管理

<sup>151</sup> USDA, “Partnerships for Climate-Smart Commodities” (<https://www.usda.gov/climate-solutions/climate-smart-commodities>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

<sup>152</sup> USDA, “Partnerships for Climate-Smart Commodities” (<https://www.usda.gov/sites/default/files/documents/pcsc-infographic-by-the-numbers.pdf>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

- ・耕作地の緩衝地、湿地、牧草地管理、植林
  - ・耕作地のアグロフォレストリー植林
  - ・植林／森林再生と持続可能な森林管理
  - ・炭素固定率の高い植林
  - ・森林土壌の質の維持・向上
  - ・林分管理による炭素貯留量の増加
  - ・水田の湿潤と乾燥を交互に行う
  - ・計画放牧やマメ科植物の播種など、気候変動に配慮した放牧の実施
  - ・バイオ炭などの土壌改良
- 参加学術機関: 30 以上のマイノリティ受入大学を含む、100 近い大学が参加している。これには、歴史的黒人大学(HBCU)が主導する 11 のプロジェクト、及び HBCU が主要パートナーとなる 35 以上のプロジェクト、ヒスパニック系教育機関(HSI)が主導するプロジェクトが 6 件、HSI が主要パートナーとなるプロジェクトが 20 件近く含まれる。
  - 参加者の多様性: 20 を超える部族及び部族グループが多くのプロジェクトを主導し、提携しており、幅広い地域の部族を代表している。
  - 期待される温室効果ガス削減効果: CO<sub>2</sub> 換算で 6,000 万トンを吸収(ガソリン自動車約 1,200 万台分の年間 CO<sub>2</sub> 排出量に相当)

#### (4) イニシアチブが達成する利益・便益

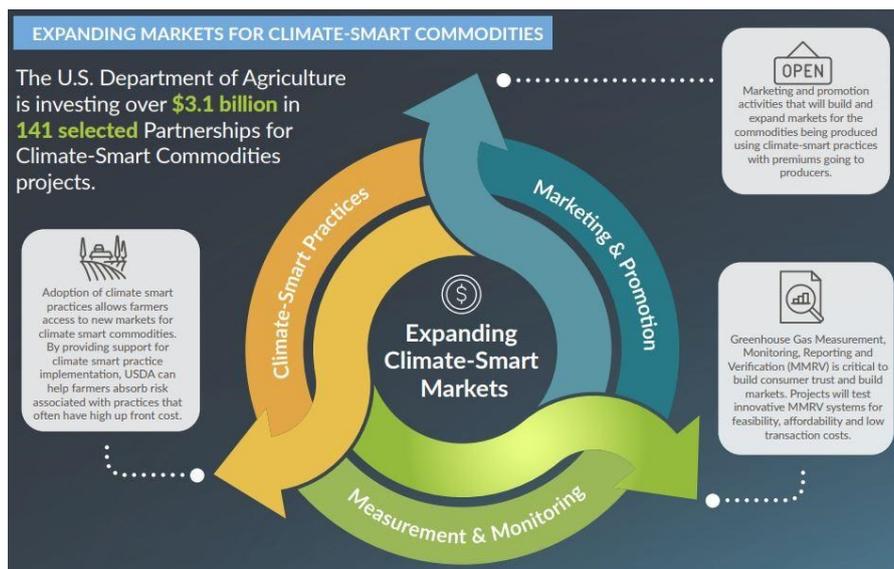


図 38: イニシアチブの生み出す成果

出典: USDA<sup>153</sup>

<sup>153</sup> Sarah Hubbard, "USDA hopes innovations in agriculture will help combat climate change", *ceres*, January 24, 2023 (<https://www.ceresimaging.net/blog/usda-climate-smart-agriculture-projects>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

1. プロジェクトは、参加者が気候変動に対応した農法を実施し、初期費用を低減することで、農産物の新たな市場への参入をサポートする。
2. プロジェクトは、参加者とともに革新的な MMRV(温室効果ガスの測定、監視、報告、検証)システムをテストし、実現可能性、手頃な価格、取引コストの低さを検証する。
3. 気候変動に配慮した農法で生産された農産物の市場を開拓・拡大し、生産者にプレミアムを支払うマーケティング・プロモーション活動を支援する。

本報告書作成に際して実施したヒアリングにおいて、USDA の関係者はイニシアチブの生み出す成果に関して次のように述べた。「『わが社の製品は温室効果ガスの排出を 20%削減した』と主張することは誰にでもできる。しかし、消費者がその真実さを確認することは難しい。したがって、このプログラムの一つの目的として、さまざまな製造方法や測定方法を用いて、温室効果ガス削減に貢献した商品の付加価値や製品の市場価値を消費者に認知してもらうことがある」。

#### (5)進捗状況

プロジェクトダッシュボード<sup>154</sup>を見ると、2024 年 1 月 16 日現在、助成金を最終決定したプロジェクトの数は 131 である。

当プロジェクトのホームページのタイムラインを見ると、2023 年 6 月にはプール 1 の 70 プロジェクト参加チームと、9 月にはプール 2 の 71 のプロジェクト参加チームとパートナーシップ会合があり、11 月には全 141 プロジェクトチームとのミーティングが開かれたことが分かる。プロジェクト期間は 1 年から 5 年で、四半期に一度報告会が開かれる予定である。

---

<sup>154</sup> USDA, Partnerships for Climate-Smart Commodities Project Dashboard  
( [https://publicdashboards.dl.usda.gov/t/FPAC\\_PUB/views/PartnershipsForClimate-SmartCommodities/Overview?%3Aembed=y&%3AisGuestRedirectFromVizportal=y](https://publicdashboards.dl.usda.gov/t/FPAC_PUB/views/PartnershipsForClimate-SmartCommodities/Overview?%3Aembed=y&%3AisGuestRedirectFromVizportal=y)) 最終アクセス日: 2024 年 2 月 5 日

# 2023

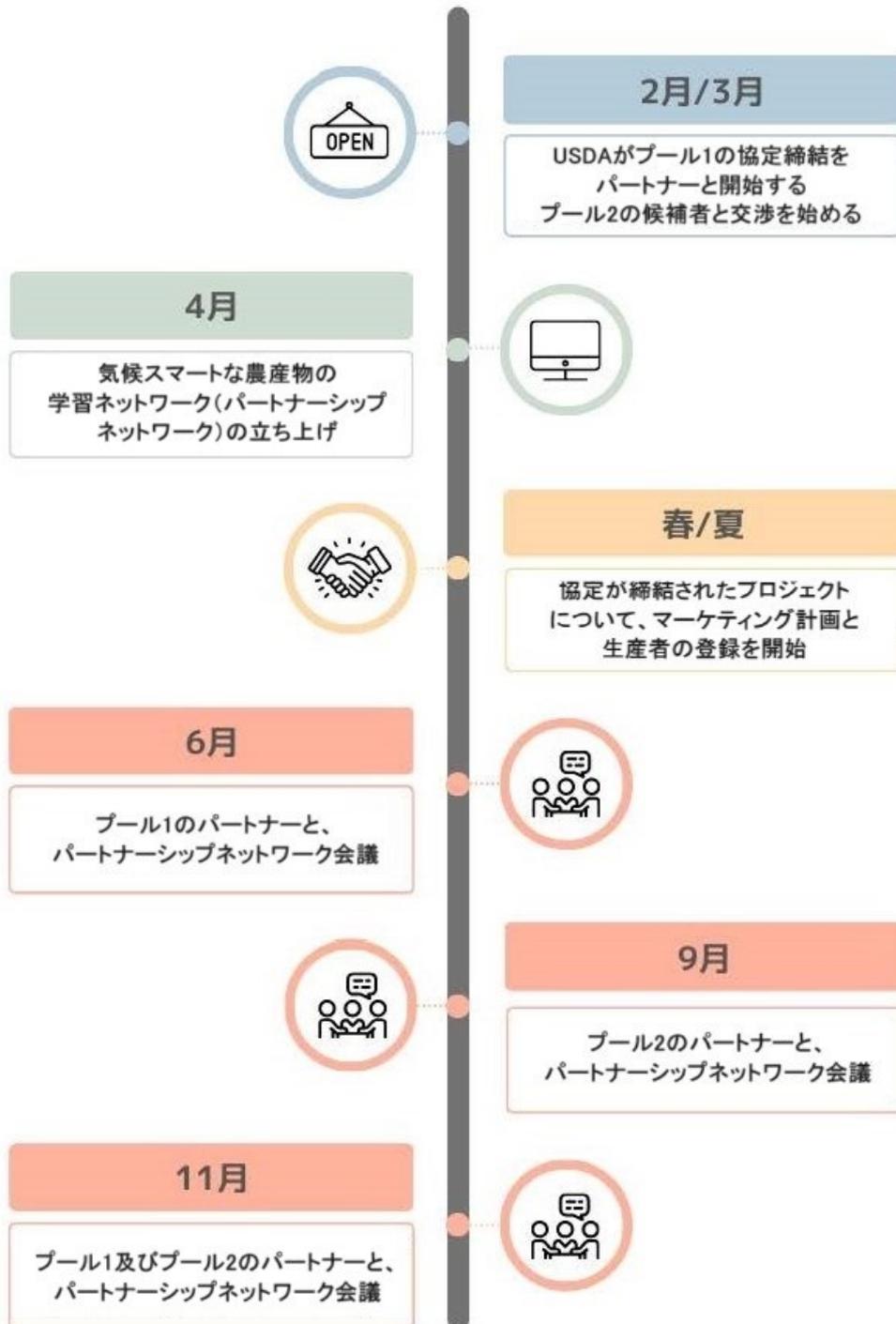


図 39: 気候スマートな農産物パートナーシップ 2023 年ロードマップ

出典: USDA<sup>155</sup>の資料をもとに@global 作成

<sup>155</sup> USDA, “Partnerships for Climate-Smart Commodities” (<https://www.usda.gov/climate-solutions/climate-smart-commodities>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

## (ミニトピック) バイオ燃料生産の現状と今後

### 米国におけるバイオ燃料生産

米国は世界最大のバイオ燃料生産国であり、世界総生産量の約 4 割を占める。特にエタノール燃料の生産は世界の 55% であり、2 位のブラジルを大きく引き離す<sup>156</sup> (下図を参照)。

#### 2021 GLOBAL FUEL ETHANOL PRODUCTION

Region; million gallons; share of global production

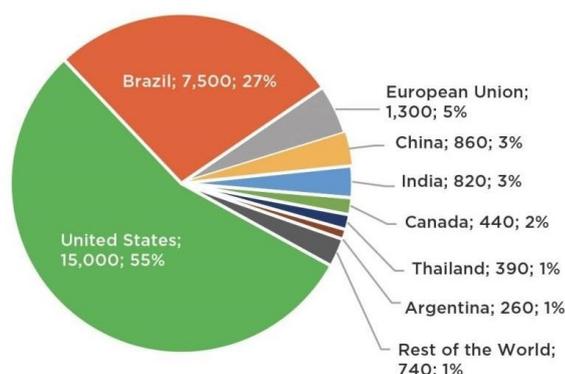


図 40: 2021 年におけるエタノール燃料生産の国別割合

出典: RFA<sup>157</sup>

米国で収穫されるトウモロコシの約 3 分の 1 はエタノール生産に消費され、多くの大豆がバイオディーゼルの生産に充てられている。生産と消費のプロセスでカーボンニュートラルであるバイオ燃料は、化石燃料依存の削減と気候変動への対処において重要な役割を果たしている。アメリカ大豆協会の関係者も、バイオ燃料が米国大豆市場だけでなく米国全体にとって重要なことを示す次のコメントを述べた。

「バイオ燃料は米国大豆油の重要な市場である。食品医薬品局 (FDA) が部分水素添加油脂はトランス脂肪酸の原因であるとした後、食品に使用されてきたかなりの量の大豆油が他の油に置き換えられた。代替市場としてのバイオ燃料がなければ、大豆油が余剰になり、大豆価格は大きな悪影響を受ける。(中略) バイオディーゼルと再生可能ディーゼルは、全国の農家や農村社会を支援し、燃料供給の多様性を高め、エネルギー自給に貢献し、排出量を削減し、大豆農家にさらなる市場を提供してきた。(中略) 国内市場では 25 億ガロンを超えるバイオディーゼルが使用されており、これにより 65,000 人以上の雇用(その多くは米国の農村部での雇用)を支え、170 億ドルの経済効果を生み出

<sup>156</sup> Renewable Fuels Association, “Ethanol Trade & Exports” (<https://ethanolrfa.org/policy/trade-and-exports>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

<sup>157</sup> Renewable Fuels Association, “Ethanol Trade & Exports” (<https://ethanolrfa.org/policy/trade-and-exports>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

している。」

ただし、今後の需要状況については下記のとおり幾つかの不確定要素がある。

### 電気自動車(EV)の台頭

バイオ燃料の継続的成長は、輸送業界の状況と密接に関連している。ガソリンの代替燃料であるエタノールは、今後のEVの台頭によって需要が減少していくという懸念がある。

ただし、EVの価格はいまだに「多くの消費者には手の届かないものであり、GMやフォードなどの製造業者はEV生産に多額の投資を行い、財政的な困難に直面しながらも、一般の自動車市場で競争する戦略にシフト」している過程にあるとファーム・ビューローの有識者は述べている。政府のEV促進に対するインセンティブについては、車両購入の金利が上昇しており、消費者負担が増加しているため困難に直面している。今後のEV普及は不確実な要素といえる。

### ジェット機用のバイオ燃料

ジェット機の燃料としてはバイオマスを利用したバイオジェット燃料が使用されているが、前述のファーム・ビューローの有識者は、これに「エタノールを使用する可能性がある。高度バイオ燃料としての分類について論議がされており、エネルギー法の規定に適合することで、エタノールの需要を増やす可能性はある」とコメントした。

### 政府目標

国際食糧政策研究所の有識者によれば、「政府はしばしば代替燃料や関連技術の採用に向けて強気な目標を設定する。ただし、これらの目標は経済的な現実と一致しないことが多々ある。エタノールブレンド率を現行の10%からE15(エタノール15%)に増加させる考えもあるが、高いエタノールブレンド率に伴うインフラの問題も考慮する必要がある。」



### 今後の展開は不確実

2012 年以降、米国のバイオ燃料生産の伸びは鈍化している。今後の成り行きは上記の要素やその他の要因に大きく影響されていくと思われる。

---

<sup>158</sup> Britannica, “Understanding the impact of bioethanol on food prices”  
(<https://www.britannica.com/video/179582/Overview-production-ethanol-biofuel>) 最終アクセス日: 2024 年  
1 月 30 日

## 5.3 緊急救済プログラム

### (1) 背景

2020年と2021年には農業生産者が自然災害によって大きな損失を被ったため、「政府資金の延長と緊急援助の提供に関する法律(Extending Government Funding and Delivering Emergency Assistance Act)」が制定され、約100億ドルの緊急援助資金が準備された。また、2022年12月29日にも、バイデン大統領は「2023年災害救済補正歳出予算法(Disaster Relief Supplemental Appropriations Act, 2023)」に署名し、2022年に発生した山火事、干ばつ、ハリケーン、大雪、その他対象となる災害による被害を被った農業生産者に対する37億4,000万ドル以上の支援を実施するとした。これらをまとめて、緊急救済プログラム(Emergency Relief Program:ERP)と呼ぶ<sup>159</sup>。

### (2) 支援対象災害

山火事、竜巻、ハリケーン、洪水、暴風雨、酷暑、大雪、凍結、煙暴露、過度の湿気、干ばつなど<sup>160</sup>。

### (3) 支援対象生産者

対象生産者とは、対象作物から収益を得る権利があり、リスクを負っている、又は対象作物が生産されていれば収益を得るはずの個人又は法人であり、以下のいずれかに該当する者である<sup>161</sup>：

- 米国市民
- 「合法的」居住外国人
- 州法に基づいて組織されたパートナーシップ
- 州法に基づいて組織された株式会社、有限責任会社、又はその他の組織体
- インディアン部族又は部族組織

### (4) 2022年の状況

米国農務省農業サービス局(FSA)ザック・デュシェノー長官は、「2022年も天候に大きく影響を受けた年であった。家族経営の農家や牧場に与える影響は1年というスパンでも大きいものだが、数年におよぶ累積的な経済的影響は壊滅的になりかねない」と述べた。

緊急救済プログラムについては、「緊急救援の改善に引き続き取り組む中で、ERP 2022の提供プロセスをさらに改善した。これまで2つのフェーズを別々に実施していたのを、今

---

<sup>159</sup> USDA, Farm Service Agency, “Emergency Relief”

(<https://www.fsa.usda.gov/programs-and-services/emergency-relief/index>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

<sup>160</sup> USDA, Farm Service Agency, “Emergency Relief Program (ERP 2022)”, October, 2023

([https://www.fsa.usda.gov/Assets/USDA-FSA-Public/usdfiles/emergency-relief-program/pdfs/fsa\\_erp\\_2022\\_track\\_1\\_factsheet.pdf](https://www.fsa.usda.gov/Assets/USDA-FSA-Public/usdfiles/emergency-relief-program/pdfs/fsa_erp_2022_track_1_factsheet.pdf)) 最終アクセス日: 2024年1月30日

<sup>161</sup> USDA, Farm Service Agency, “Emergency Relief Program (ERP 2022)”, October, 2023

([https://www.fsa.usda.gov/Assets/USDA-FSA-Public/usdfiles/emergency-relief-program/pdfs/fsa\\_erp\\_2022\\_track\\_1\\_factsheet.pdf](https://www.fsa.usda.gov/Assets/USDA-FSA-Public/usdfiles/emergency-relief-program/pdfs/fsa_erp_2022_track_1_factsheet.pdf)) 最終アクセス日: 2024年1月30日

回は同時に実施することで、公平なプログラム提供を確保しつつ、申請と支払い処理の効率性を向上させた」とコメントした<sup>162</sup>。

上記のコメントからすると、特に 2022 年度には、災害に対する迅速な支援提供を目指して改善が行われていることが分かる。

### (5) 支援提供の方法

緊急救済プログラムでは、被災した生産者に対し、2 つのフェーズを通じて対象生産者への緊急救済が実施される<sup>163</sup>。

- フェーズ 1 では、既存の連邦農産物保険又は非保険対象品目支援プログラム (Noninsured Crop Disaster Assistance Program: NAP) に参加している人に対して支援する。これらのプログラムのデータを活用し、初期支払額を算出する。
- フェーズ 2 では、フェーズ 1 で支援を受けることができなかった生産者を対象とする。税務記録から容易に入手できる収入情報を使用して、災害によって収益が減少した生産者に対して支援を提供する。

緊急救済プログラム 2022 では、上記 2 つのフェーズを同時に実施することにより、プロセスを合理化し、より迅速な支援がなされるように改善された。

### (6) 支援の実績

USDA のサイトにある ERP ダッシュボードより、支援の実績状況を確認することができる<sup>164</sup>。2024 年 1 月 8 日時点での支援状況は以下のとおりである。

---

<sup>162</sup> USDA, Farm Service Agency, “USDA to Provide More Than \$3 Billion to Commodity and Specialty Crop Producers Impacted by 2022 Natural Disasters”, October 27, 2023 (<https://www.fsa.usda.gov/state-offices/Arizona/news-releases/2023/usda-to-provide-more-than-3-billion-to-commodity-and-specialty-crop-producers-impacted-by-2022-natural-disasters>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

<sup>163</sup> USDA, Farm Service Agency, “USDA to Provide More Than \$3 Billion to Commodity and Specialty Crop Producers Impacted by 2022 Natural Disasters”, October 27, 2023 (<https://www.fsa.usda.gov/state-offices/Arizona/news-releases/2023/usda-to-provide-more-than-3-billion-to-commodity-and-specialty-crop-producers-impacted-by-2022-natural-disasters>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

<sup>164</sup> USDA, Farm Service Agency, “ERP Dashboard”, January 21, 2024 (<https://www.fsa.usda.gov/programs-and-services/emergency-relief/erp-dashboard/index>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

表 18: 緊急救済プログラムの支援状況(単位:ドル、人)

フェーズ	対象	支援額			承認された 申込者	
フェーズ 1	特殊作物	1,145,045,886	7,453,407,829	8,327,945,414	291,978	302,196
	その他	6,308,361,943				
フェーズ 2	特殊作物及び高価 値作物	465,676,899	874,537,585		10,218	
	その他	408,860,686				

出典: USDA のサイトにある ERP ダッシュボードをもとに@global 作成<sup>165</sup>

上記の表から、2024 年 1 月時点で、30 万人以上の農家に 80 億ドル以上の支援が支払われたことが分かる。また、支援額のほとんどが、フェーズ 1 における特殊作物以外に支払われていることも分かり、多くの農家がリスク管理プログラムに参加していることも分かる。

<sup>165</sup> USDA, Farm Service Agency, “ERP Dashboard”, January 21, 2024 (<https://www.fsa.usda.gov/programs-and-services/emergency-relief/erp-dashboard/index>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

## 5.4 生産者のためのパンデミック支援イニシアチブ

### 5.4.1 プログラムの概要

2021年1月、バイデン大統領は、「COVID-19 対応・パンデミック準備のための国家戦略 (National Strategy for the COVID-19 Response and Pandemic Preparedness)」<sup>166</sup>を発表した。米国農務省もこの計画を支持し、COVID-19 パンデミックの影響を受けた農家や牧場主を支援するため、多岐にわたるプログラムを実施してきた。特にパンデミック発生当初の2020会計年度には、栄養プログラムを除いては、農業法にて施行されるどのプログラムをもはるかにしのぐ規模の金額を拠出した。

表 19: USDA パンデミック支援拠出額の推移<sup>167</sup>

会計年度	支援拠出額	注記
2020	235.6 億ドル	
2021	74.9 億ドル	
2022	1.9 億ドル	
2023	3.7 億ドル	予想値

パンデミックが収まるにつれて、上記支援拠出額も減少し、ほとんどの支援プログラムへの申請期間は終了したものの、損失を被った人々を支援するための継続的なイニシアチブがまだ実施されている。

以下では、2024年1月時点ですでに申請が終了したプログラムと、継続しているサポートに分けて、どのようなパンデミック支援が行われているかを示す。

### 5.4.2 すでに申請が終了したプログラム<sup>168</sup>

パンデミックから生産者を保護するため、多岐にわたるプログラムが用意されたが、そのほとんどは、2024年1月時点で申請が終了している。以下に、すでに申請が終了したプログラムの一覧を示す。

- 有機酪農マーケティング支援プログラム (Organic Dairy Marketing Assistance Program: ODMAP)<sup>169</sup>：

COVID-19によるコスト上昇や全国的な干ばつなどに直面している有機酪農認定生

<sup>166</sup> President Joe Biden, “National Strategy for the COVID-19 Response and Pandemic Preparedness”, January 21, 2021 (<https://www.whitehouse.gov/wp-content/uploads/2021/01/National-Strategy-for-the-COVID-19-Response-and-Pandemic-Preparedness.pdf>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

<sup>167</sup> USDA, Economic Research Service, “Government payments by program”, November 30, 2023 (<https://data.ers.usda.gov/reports.aspx?ID=17833>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

<sup>168</sup> USDA, “USDA Pandemic Assistance for Producers” (<https://www.farmers.gov/coronavirus/pandemic-assistance>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

<sup>169</sup> USDA, “Dairy Programs” (<https://www.fsa.usda.gov/programs-and-services/farm-bill/farm-safety-net/dairy-programs/index>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

産者を支援した。

- **パンデミック支援収入プログラム (Pandemic Assistance Revenue Program: PARP)**<sup>170</sup> :

COVID-19により2018年又は2019年と比較して2020暦年に収入が減少した農産物の適格生産者を支援した。

- **農産物コンテナ支援プログラム (Commodity Container Assistance Program: CCAP)**<sup>171</sup> :

米国農産物を再び世界市場へ効率的に輸送できるよう、物流コストの高騰をカバーするため、対象港でコンテナ1つ当たりに対して125~400ドルの支援金を提供した。

- **オーガニック移行教育・認証プログラム (Organic Transitional Education and Certification Program: OTECP)**<sup>172</sup> :

オーガニック認証・移行中の農業生産者に対し、認証及び教育費用を支援した。

- **コットン及びウール・アパレルプログラム (Cotton And Wool Apparel: CAWA)**<sup>173</sup> :

ウール及びピマ・コットンのアパレル製造業者、生地製造業者を支援するために5,000万ドルを提供した。

- **バイオ燃料生産者プログラム (Biofuel Producer Program)**<sup>174</sup> :

COVID-19により合計37億ガロンにおよぶ市場損失から影響を受けたバイオ燃料生産者のコスト削減と支援に7億ドルを提供し、195のバイオ燃料生産施設及び原材料であるトウモロコシ、大豆、バイオマスなどの農産物生産者の市場の維持と存続を支援した。

- **スポット市場豚パンデミックプログラム (Spot Market Hog Pandemic Program: SMHPP)**<sup>175</sup> :

2020年4月16日から2020年9月1日までにスポット市場で豚を販売した豚生産者にパンデミック支援を提供した。

---

<sup>170</sup> USDA, “Pandemic Assistance Revenue Program”

(<https://www.farmers.gov/archived/coronavirus/pandemic-assistance/parp>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

<sup>171</sup> USDA, “Commodity Container Assistance Program” (<https://www.farmers.gov/coronavirus/pandemic-assistance/ccap>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

<sup>172</sup> USDA, “Organic and Transitional Education and Certification Program”

(<https://www.farmers.gov/archived/your-business/organic/otecp>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

<sup>173</sup> USDA, “USDA to Provide \$50 Million in Support to U.S. Cotton and Wool Apparel Manufacturers Impacted by the Pandemic”, May 5, 2022 (<https://www.fsa.usda.gov/news-room/news-releases/2022/usda-to-provide-50-million-in-support-to-us-cotton-and-wool-apparel-manufacturers-impacted-by-the-pandemic>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

<sup>174</sup> USDA, “USDA Has Provided \$700 Million to Restore Sustainable Fuel Markets Hit by Pandemic”, June 3, 2022 (<https://www.usda.gov/media/press-releases/2022/06/03/usda-has-provided-700-million-restore-sustainable-fuel-markets-hit>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

<sup>175</sup> USDA, “Spot Market Hog Pandemic Program”

(<https://www.farmers.gov/archived/coronavirus/pandemic-assistance/smhpp>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

- **パンデミック被覆作物プログラム (Pandemic Cover Crop Program : PCCP)<sup>176</sup>** :  
2021 及び 2022 作物年度に、適格な被覆作物 (カバークロップ) を作付けした生産者に保険料を支援、1,220 万エーカーの被覆作物に対して 5,900 万ドル以上の保険料を補助した。
- **コロナウイルス食料支援プログラム (Coronavirus Food Assistance Program : CFAP)<sup>177</sup>** :  
COVID-19 によりその経営に影響を受けた農家、牧場主、農業生産者を支援した。
- **パンデミック家畜補償プログラム (Pandemic Livestock Indemnity Program : PLIP)<sup>178</sup>** :  
パンデミック時に加工施設へアクセスできず損失を被った鶏、七面鳥、豚の生産者を救済した。
- **木材伐採・運搬業者パンデミック支援プログラム (Pandemic Assistance for Timber Harvesters and Haulers program : PATHH)<sup>179</sup>** :  
2020 年にパンデミック損失を被った木材伐採及び木材運搬事業者を支援した。
- **乳製品寄付プログラム (Dairy Donation Program : DDP)<sup>180</sup>** :  
乳製品の寄付を促進し、食品廃棄を減らすために 4 億ドルを割り当てた。対象となる酪農団体は、個人や家族に食料を配給する非営利の給食団体と提携して乳製品を寄付する。
- **パンデミック市場変動支援プログラム (Pandemic Market Volatility Assistance Program : PMVAP)<sup>181</sup>** :  
パンデミックと連邦政策による市場混乱のために収入が減った酪農家に 3 億 5,000 万ドル以上のパンデミック支援金を支給した。2020 年 7 月から 12 月までの販売量に基づき、1 か月当たりの収益差の 80% を適格酪農家に支払った。
- **パンデミック対応・安全補助金プログラム (Pandemic Response and Safety (PRS))**

<sup>176</sup> USDA, “Pandemic Cover Crop Program (PCCP)”

(<https://www.farmers.gov/archived/coronavirus/pandemic-assistance/pccp>) 最終アクセス日 : 2024 年 1 月 30 日

<sup>177</sup> USDA, “Coronavirus Food Assistance Program (CFAP)” (<https://www.farmers.gov/archived/cfap2>) 最終アクセス日 : 2024 年 1 月 30 日

<sup>178</sup> USDA, “Pandemic Livestock Indemnity Program (PLIP)”

(<https://www.farmers.gov/archived/coronavirus/pandemic-assistance/plip>) 最終アクセス日 : 2024 年 1 月 30 日

<sup>179</sup> USDA, “Pandemic Assistance for Timber Harvesters and Haulers Program”

(<https://www.farmers.gov/archived/coronavirus/pandemic-assistance/pathh>) 最終アクセス日 : 2024 年 1 月 30 日

<sup>180</sup> USDA, “USDA Establishes Dairy Donation Program, Part of Continuing USDA Pandemic Assistance”, August 25, 2021 (<https://www.ams.usda.gov/press-release/usda-establishes-dairy-donation-program-part-continuing-usda-pandemic-assistance>) 最終アクセス日 : 2024 年 1 月 30 日

<sup>181</sup> USDA, “Pandemic Market Volatility Assistance Program | Agricultural Marketing Service”

(<https://www.ams.usda.gov/services/pandemic-market-volatility-assistance-program>) 最終アクセス日 : 2024 年 1 月 5 日

Grant Program)<sup>182</sup>及び水産物加工業者パンデミック対応・安全助成プログラム (Seafood Processors Pandemic Response and Safety (Seafood PRS) Block Grant Program)<sup>183</sup> :

パンデミックの影響を受けた小規模の特産作物生産者及び加工業者、貝類、養殖及びその他生産者、食肉及び加工業者、流通業者、農産物直売所、水産物施設、及び加工船に約 7 億ドルの支援を提供した。

- 付加価値生産者補助金プログラム (Value-Added Producer Grant (VAPG) Program)<sup>184</sup> :

農業生産者が新商品の加工や販売に関連した付加価値活動に参入するのを援助する当該プログラムを通じて、コロナウイルスによって影響を受けた農業生産者に 3,500 万ドルを追加で支援した。

- 特殊作物助成プログラム (Specialty Crop Block Grant Program: SCBGP)<sup>185</sup> :

米国の食品・農産物の新たな市場機会を開拓することを目的とした革新的なプロジェクトに総額 1 億 6,990 万ドルを提供し、個人用保護具やワクチン接種費用、リスクやサプライチェーンの混乱などに対するパンデミック支援を提供した。

- ガス・シューマッハ栄養インセンティブプログラム (Gus Schumacher Nutrition Incentive Program: GusNIP)<sup>186</sup> :

7,500 万ドルを拠出し、低所得消費者による果物や野菜の購入を支援した。

- 農業参入者支援プログラム (Beginning Farmer and Rancher Development Program: BFRDP)<sup>187</sup> :

次世代の農家の持続可能性を高める教育、トレーニング、アウトリーチ、指導プログラムのため 3,750 万ドルを提供した。

---

<sup>182</sup> USDA, “Pandemic Response and Safety Grants” (<https://www.ams.usda.gov/services/grants/prs>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

<sup>183</sup> Grant.gov, “View Grant Opportunities” ([grants.gov/search-results-detail/335608](https://grants.gov/search-results-detail/335608)) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

<sup>184</sup> USDA, “Value Added Producer Grants Due April 29; Supports Ag Producers” | Rural Development” (<https://www.rd.usda.gov/newsroom/news-release/value-added-producer-grants-due-april-29-supports-ag-producers>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

<sup>185</sup> USDA, “USDA Invests More Than \$330 Million in Specialty Crops Grants, Incentives to Purchase Fruits and Vegetables, and Help for Cotton Producers” (<https://www.usda.gov/media/press-releases/2021/04/13/usda-invests-more-330-million-specialty-crops-grants-incentives>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

<sup>186</sup> National Sustainable Agriculture Coalition, “The Gus Schumacher Nutrition Incentive Program” (<https://sustainableagriculture.net/publications/grassrootsguide/local-food-systems-rural-development/food-insecurity-nutrition-incentives/#:~:text=The%20Gus%20Schumacher%20Nutrition%20Incentive%20Program%20%28GusNIP%29%2C%20formerly,their%20purchasing%20power%20at%20locations%20like%20farmers%20markets.>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

<sup>187</sup> USDA, “Beginning Farmer and Rancher Development Program (BFRDP)” (<https://www.nifa.usda.gov/grants/programs/beginning-farmer-rancher-development-program-bfrdp>) 最終アクセス日: 2024 年 1 月 30 日

- **紡績業者への支払い(Payments to Domestic Users of Cotton)<sup>188</sup>**:  
パンデミックの影響を受けた繊維工場を支援するため、アップランド綿及び超長綿の国内紡績業者に対して約 8,000 万ドルの追加支払いを行った。
- **地域農業市場プログラム(Local Agriculture Market Program:LAMP)<sup>189</sup>**:  
地方のフードシステムにおける経済成長と創意工夫の機会を最大化し、小規模農家、新規就農者、退役軍人、社会的に不利な立場にある農家に新たな収入源を生み出し、付加価値製品やニッチ製品の新たな市場機会を創出するため、9,220 万ドルの競争助成金資金を提供した。

### 5.4.3 継続されているイニシアチブ<sup>190</sup>

本報告書執筆(2024年1月)時点で継続されているパンデミック支援の例を以下に示す。

#### (1) 融資手続きの緩和

困難な次期のキャッシュフローを支援するため、FSA は融資プロセスを緩和し、柔軟に融資できるようにしている。法的に禁止されていない場合、スキャンされた署名の受け入れや、ビデオ会議の使用によって手続きができるようにしているため、非対面での手続きを行うことができる。

#### (2) ローン支払期日や申込み締切り日の延長

USDA は、経済的に困窮し資金繰りに苦慮している借り手に対するローン支払期日を延期した。保証付き融資についても、貸し手が顧客にサービスを提供できるようにサポートしている。

#### (3) 債権回収・差し押さえなどの一時停止措置

現時点(2024年1月)で、米国農務省は裁判所を通さない債権回収及び差し押さえを一時的に停止している。この一時的な停止措置は追って通知があるまで実施される見込みである。

<sup>188</sup> USDA, “USDA Invests More Than \$330 Million in Specialty Crops Grants, Incentives to Purchase Fruits and Vegetables, and Help for Cotton Producers” (<https://www.usda.gov/media/press-releases/2021/04/13/usda-invests-more-330-million-specialty-crops-grants-incentives>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

<sup>189</sup> USDA, “USDA Invests \$92.2 Million in Grants for Local, Regional Food Producers Affected by the Pandemic”, May 5, 2021 (<https://www.ams.usda.gov/press-release/usda-invests-922-million-grants-local-regional-food-producers-affected-pandemic>) 最終アクセス日: 2024年1月30日

<sup>190</sup> USDA, “Coronavirus and USDA Assistance for Farmers” (<https://www.farmers.gov/coronavirus#program-flexibilities>) 最終アクセス日: 2024年1月30日